

工業「実習」(必修・選択科目)	単位数	5単位(必修2単位・選択3単位)
	学科・学年	繊維科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 2年次の基礎的な技術技能を応用して、繊維製品を主体的に企画・製作することができる能力を育成する。</p> <p>2 実習の作業を通して繊維に関する知識と技能を高め、将来の産業社会に貢献できる能力と態度を育成する。</p>
使用教科書・副教材等	自作プリント

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

実習	学習内容	学習のねらい	提出物
①	1 デザインタオル実習	<ul style="list-style-type: none"> デザイン画の制作方法について学ぶ。 デザイン画像を織物に展開する基本的手法について学ぶ。 各種タオル組織を理解し、CGSデータへの変換方法について学ぶ。 電子ジャカード式レピア織機の仕組みと製織技術について学ぶ。 	レポート 制作データ 制作画像 デザインタオル
②	1 デザイン選手権 2 草木染めの研究	<ul style="list-style-type: none"> デザイン選手権の課題に取り組む。 身近な素材を使った草木染めに取り組む 	レポート 染色サンプル
③	1 CG(コンピュータグラフィックス)実習	<ul style="list-style-type: none"> ドローツの基本操作を理解し、各種機能を習得する。 ドローツを使ってオリジナルデザインを描き、カットイングプロットによる作品制作を行う。 	レポート 制作データ 作品
④	1 捺染実習	<ul style="list-style-type: none"> 顔料捺染・白色抜染・反応染料などを用いた捺染を学習する。 捺染に必要な自作のスクリーン枠を製作し理解する。 	レポート 作品

※4つの実習項目を1年間でローテーションする。実習・課題研究・工業技術実践との集中型授業体系で実施するため、半期の実施体系となる。

(2) 評価の観点及び内容

実習	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
①	・完成作品に興味を持ち、各種技術を確実に理解しようとしているか。	・基礎的項目を理解し、自己のデザインに適応した作品を制作しているか。	・2年次までに身に付けた各種技能を作品制作に展開できるか。	・各方面の基本的技術を結びつけて理解し、作品制作しているか。
②	・課題に興味関心を持ち、意欲的かつ積極的に取組めたか。	・課題を解決するための合理的な取組みがなされたか。	・器具・道具の正しい使用法を理解し実践できたか。	・今までの成果を理解し、新しい取組みに生かすことができたか。
③	・デジタルデータの作成、修正、合成の技法をマスターしようとしているか。	・ツールを状況に応じて使い分けることができるか。	・ツールを使ってイメージ通りの加工ができるか。	・レイヤーやツールについて理解しているか。
④	・捺染について関心を持ち意欲的に取り組んでいるか。	・作業を考え効率よく行っているか。	・正確に捺染し、作品がミスなくできたか。	・捺染についての知識を身に付け理解できたか。

・成績評価は、上記4つの観点を含めた学習活動、レポートの内容、作品内容の評価を基本として、出席状況、学習態度、技能の習得状況により総合的に評価する。

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> 危険性を伴う実習があるため、服装や取り組む姿勢に注意し事故防止に努めてください。 実習報告書(レポート)の書き方を理解し、期日に遅れないように提出してください。
① デザインタオルの製造を通じて繊維技術の知識・技術を総合的にマスターして下さい。
② 化学繊維の化学的性質や構造などをしっかり理解して実習に臨みましょう。
③ ドロー系ソフトなどに慣れ親しみ、コンピュータを扱うことが楽しくなることが大切です。
④ 身近なプリント捺染された繊維製品、興味を持って行ってみよう。